



こんな看護をしています

—専門看護師の紹介—



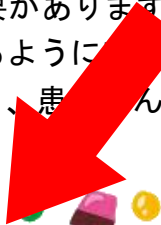
皮膚・排泄ケア認定看護師 山崎 千恵子

私は今年7月に、皮膚・排泄ケア認定看護師の認定を受けました。当院で3人目となります。

入職時から外科病棟で働き、特にストーマの手術を受けた患者さんと関わる中で、患者さんの悩みや不安が解決できる力になればと思い、この分野の資格を取得しました。

皮膚・排泄ケア認定看護師の主な役割は、創傷・ストーマ・失禁を有する患者さんとその家族への看護ケア実践です。創傷の分野では、褥瘡やスキンテアなど皮膚トラブルへの予防対策やケア実践を行っています。ストーマの分野では、ストーマの手術を受けた患者さんとその家族へストーマの管理方法について指導しています。失禁の分野では、失禁の原因を検索しその人に合った排泄管理ができるように支援をしています。共通して言えるのは、創傷もストーマも失禁も、他人からは見えにくいからこそその不安や悩みを抱えている患者さんが多いことです。そのため、患者さんが抱える不安や悩みを少しでも解決する必要があります。

私の務めは、患者さんがその人らしく生活できるようにすることだと思っています。先輩2人と力を合わせ、また他職種と連携をとりながら、患者さんの気持ちに寄り添った看護を実践していきたいと思っています。



市立大津市民病院大学

健康講座レポート

テーマ：『眠れないと感じる方へのお話』

- ◆日時：9月13日（木）14時～15時
- ◆場所：市立大津市民病院 9階大会議室
- ◆講師：精神・診療内科診療部長 畑 譲
- ◆参加者：66名



平成30年度 第3回市立大津市民病院大学 健康講座を開催いたしました。

講師からは、睡眠の重要性や基礎知識から睡眠障害についてなど全般的な講義をしていただきました。



特に睡眠時間、睡眠薬についての講義は参加された皆さんの関心が非常に高く、熱心にメモを取られたり頷いて聞いておられました。

講義後の質問コーナーでも多くの質問が寄せられ、睡眠に対する関心が高いことが伺われました。

また、参加後のアンケートにも「睡眠時間は少なくともよい事を分かりやすく説明してもらってよかった」「睡眠薬は安全であることを知って安心した」等の感想をいただき、好評のうちに講義が終了しました。